



平成22年7月29日

各 位

会 社 名 株式会社横河ブリッジホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 吉 田 明
 (コード番号 5911 東証第1部)
 問合せ先 経 理 部 長 宮 本 英 典
 (TEL 03-3453-4116)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成23年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正
 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,000	950	1,600	850	18.70
今回修正予想 (B)	39,000	1,400	2,050	850	18.71
増 減 額 (B-A)	△ 3,000	450	450	—	—
増 減 率 (%)	△ 7.1	47.4	28.1	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成22年3月期第2四半期)	41,846	2,187	2,814	1,533	33.73

2. 平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正
 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	84,000	2,000	2,700	1,500	33.01
今回修正予想 (B)	84,000	2,450	3,150	1,500	33.01
増 減 額 (B-A)	—	450	450	—	—
増 減 率 (%)	—	22.5	16.7	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成22年3月期)	85,365	2,901	4,175	2,156	47.44

3. 修正の理由

当第1四半期において、橋梁事業の生産については、目標を下回るものの、豊富な受注残高を背景に、順調に推移しました。採算面でも、グループ全体でコストの低減に一層努めましたうえ、橋梁事業において、竣工した大型の架設工事、保全工事の採算が予想を上回ったこと、システム建築事業において、大型工事の採算が改善したことが加わりましたので、工事採算は改善に向かいました。この結果、第2四半期累計期間の連結業績において、営業利益および経常利益は、公表値を上回る見込みであります。また、通期の連結業績の予想についても、上半期の業績改善を受け、通期の連結業績の営業利益および経常利益は、公表値を上回る見込みであります。

しかし、第2四半期累計期間および通期とも、現在の株式市場の水準を前提にすると「投資有価証券評価損」を特別損失に計上する見通しのため、四半期純利益ならびに当期純利益の予想は修正いたしません。

以 上

(注) 上記の業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをお含みおきます。